

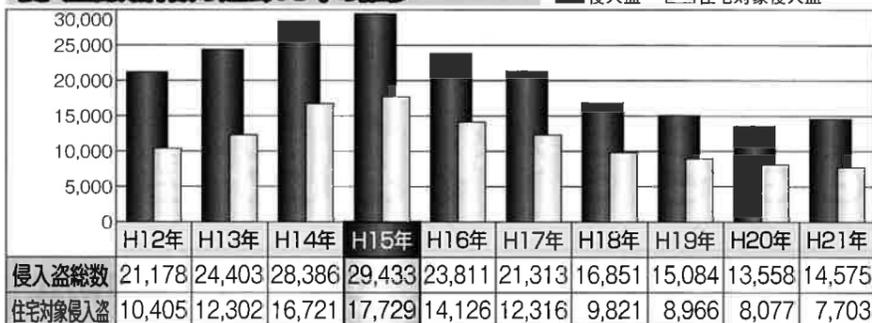
侵入盗被害の実態(平成21年中)

住宅を対象とした侵入盗の実態

侵入盗被害の発生状況

平成21年中における侵入盗の認知件数は、14,575件で前年に比べて1,017件(7.5%)増加しました。この内、住宅を対象とした侵入盗は、7,703件で約53%を占めています。

侵入盗認知件数の過去10年の推移



侵入盗総数は、平成10年から漸増傾向にあり、平成15年は過去最高を記録しました。以降、平成20年までの5年間連続で減少に転じましたが、昨年は、前年に比べますと、7.5%の増加となりました。住宅を対象とした侵入盗は、平成15年から昨年までの6年間連続で減少しております。また、過去10年間で住宅対象侵入盗は合計で118,166件発生しており、その被害にあった割合は、およそ25世帯に1件が被害にあった計算になります。

住宅を対象とした侵入盗被害の全国ワーストランキング

ワースト順位	住宅を対象とした侵入盗			
	空き巣	忍込み	居空き	その他
1位	愛知県 7,703件	東京都 5,596件	愛知県 1,833件	福岡県 389件
2位	東京都 6,695件	愛知県 5,499件	千葉県 1,444件	東京都 372件
3位	大阪府 5,838件	大阪府 4,629件	福岡県 1,138件	愛知県 371件
4位	千葉県 5,708件	神奈川県 4,492件	埼玉県 1,093件	埼玉県 368件

愛知県は、住宅を対象とした侵入盗が3年連続全国ワースト1位です。空き巣が最も多く発生していますが、忍込み、居空きなどの家人が在宅中の被害も多発しています。また、忍込み被害は9年連続で全国最多です。

発生場所の割合



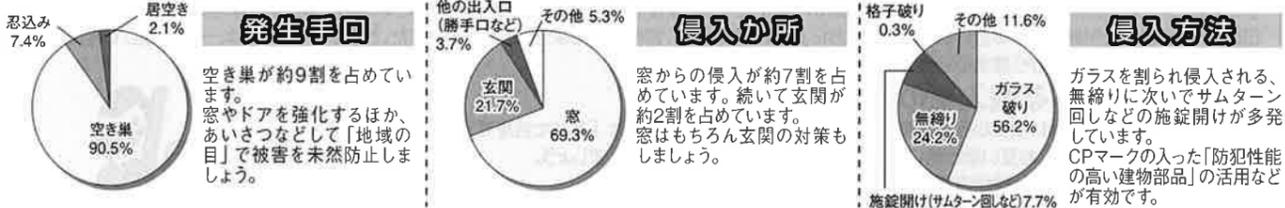
空き巣とは……家人等が、留守中の住居に侵入し、金品を盗む手口
忍び込みとは……家人等が、夜間就寝中に侵入し、金品を盗む手口
居空きとは……家人等が、在宅し、風呂、食事のスキに侵入し、金品を盗む手口

被害の傾向

一戸建住宅における被害の傾向



共同住宅(アパート・マンション等)における被害の傾向



被害防止のポイント 防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは、「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づいた対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。

時間	「侵入に時間を掛けさせる」・補助錠やCP建物部品等を利用する。
光	「周囲を明るくする」・センサーライトや門灯などで家の周りを明るくする。
音	「音で威嚇する」・警報機や防犯砂利を活用する。
地域の目	「地域の連携を強化する」・住民同士であいさつしたり、不審者に声をかける。

子どもの声かけ事案等の実態(平成21年中)

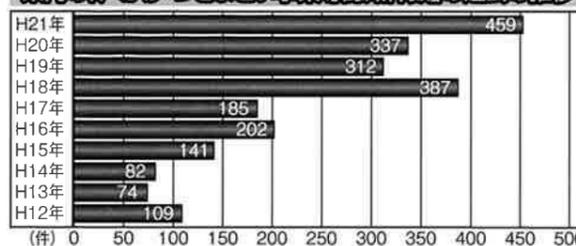
子ども(13歳未満)の声かけ、つきまとい等の認知件数

平成20年	337件
平成21年	459件

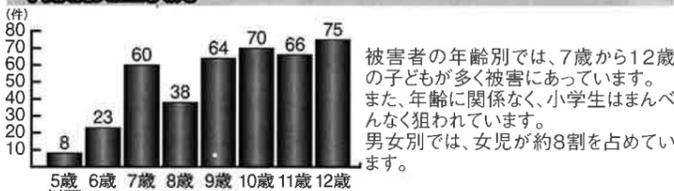
昨年との比較
122件の増加

増加の要因
近年、全国的に子どもを対象とした凶悪事件が発生し、子どもに対する不審者への関心の高まりから、警察への届出が増加したものとされます。不審な人物や車を見かけたり、子どもに危険が迫っていると感じた時は、その場で声を掛けたり、110番通報して下さい。

県内の「声かけ・つきまとい事案等認知件数」の過去の推移

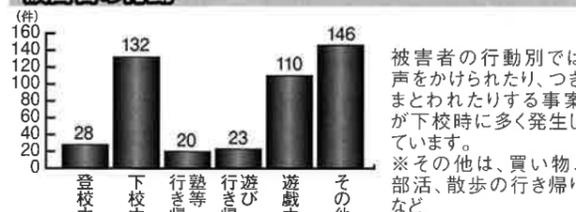


年齢別発生状況



被害者の年齢別では、7歳から12歳の子どもが多く被害にあっています。また、年齢に関係なく、小学生はまんべんなく狙われています。男女別では、女兒が約8割を占めています。

被害者の行動



被害者の行動別では声をかけられたり、つきまといられたりする事案が下校時に多く発生しています。※その他は、買い物、部活、散歩の行き帰りなど

時間帯別発生状況

時間帯	6時~8時	8時~10時	10時~12時	14時~16時	18時~20時	その他	総計
件数	24	13	15	146	33	6	459
割合	5.2%	2.8%	3.3%	31.8%	7.3%	1.3%	100.0%

注意!

時間帯別では、下校時間帯と下校後の遊びや塾等の目的により子どもだけで行動する時間帯に集中しています。

子どもを犯罪から守る合言葉
「つきまとい」

- ① 知らない人に声をかけられても、② 知らない人に声をかけられても、③ 知らない人に声をかけられても、
- ④ みんなと、いつもいっしょ 一人で遊んだりどこかへ行ったりしない。みんなと、いつもいっしょ。
- ⑤ きちんと知らせる 出かけるときや何かあったときは、きちんと知らせる。
- ⑥ おおごえで助けを呼ぶ 知らない人に連れて行かれそうになったら、おおごえで助けを呼ぶ。
- ⑦ げん こわいと思ったら、すぐにげん。

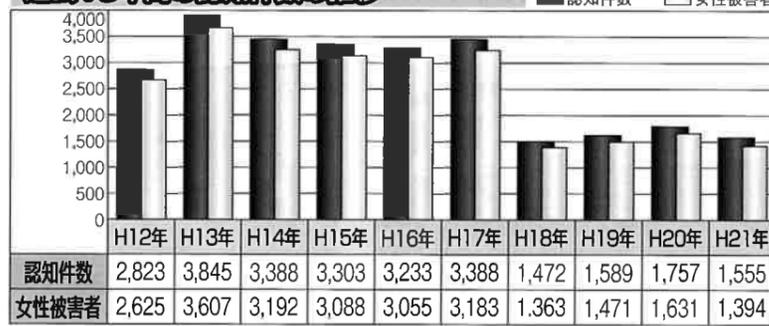
ひったくり被害の実態(平成21年中)

ひったくり被害アラカルト

発生件数	1,555件
被害総額	約1億2,350万円
一件当たりの被害総額	約79,000円
被害現金	約5,550万円
一件当たりの被害現金	約36,000円
一日当たりの発生	4.3件
全国ワーストランキング	ワースト7位

ひったくりは、カバンなどを盗られるだけでなく、引きずられて転倒し、怪我をする可能性のある危険な犯罪です。年間3,000件以上ひったくりが発生していた平成17年までと比較すると、その数は半減しています。しかし依然として、毎月100件以上、平均すると一日約4.3件の被害が発生しています。

過去10年間の認知件数の推移



被害者男女別



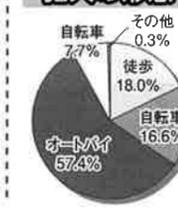
被害者年齢別



被害者の形態



犯人の形態



被害にあいやすいのは女性

被害者の約9割が女性です。ひったくりは女性を狙った犯罪と言えるでしょう。また、被害者を年齢別にみると、20歳代が最も多く、全体の約3割を占めています。次いで、70歳以上、30歳代の被害が多発しています。

「ひったくり」の被害者とならないために 3B+N作戦

- B**ag カバンの持ち方に注意! カバンは車道と反対側にしっかり抱えて持つ。●ショルダーバックはたすぎげ。
- B**ack 後方注意! 時々、後ろを振り返り警戒姿勢をアピールする。●人通りの多い、明るい道を選ぶ。●ひったくりの被害にあうかもしれないと意識する。
- B**ike バイク・自転車注意! バイク・自転車の音や気配に注意。●特に後方から近づくバイクには要注意。●バイク・自転車が近づいて来たら、警戒する。
- N**et 防犯ネットを前カゴに! 自転車の前カゴには防犯ネットを。●防犯ネットが無い場合、カバンの持ち手が外に出ないように。●雑誌などを上に置くだけでも効果があります。